

コロナ感染症に負けない建築士

公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 支部長の戎でございます。

会員の皆様には当会へのご支援とご協力を頂きまして感謝いたしております。

今年度は、コロナ感染症拡大により会員の皆様への情報、事業が思うように提供できませんでした事をお詫び申し上げます。

昨年はコロナ感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、通常総会は、会場として予定しておりました神戸産業振興センターをはじめ市内の各会議室が閉鎖されましたので、神戸支部事務局での開催となりました。多くの方々にお会いすることができずに残念で申し訳ございませんでした。

今年は、緊急事態宣言も解除され、感染者数も下げ止まりの兆候があり、今年は通常総会が開催できて皆様とお会いできると思っていました。しかし、気候も暖かくなり、桜も開花して、今まで抑えられてきた気持ちが解放されて、コロナ感染症への警戒心が緩みがちとなり、感染者数も増加してきている状況に変わってきています。今年の総会開催もできるかどうか心配なところです。

いまだコロナ禍が続いています。まだまだ油断はできない状況であります。皆様には3 蜜を避け、常にマスクの着用、日ごろの体温管理、部屋では十分な換気を行いながら、感染症対策に十分注意して頂くと同時に、十分な対策を続けて頂きたいと思います。

会員の方々におかれましては、この非常事態に耐えながらの日々の生活、仕事に従事されているご苦労に対して、ご心痛お察し致します。

コロナ感染症拡大も第 4 波が始まっているとの報道もありますが、ワクチン接種も始まりました。多くの人たちが接種を受けることができ、早くこのコロナ禍が収束し、マスク無しで会話ができること、笑顔を見ることができる時が 1 日も早く来ることを願っています。

コロナ禍で生活スタイルが変わり、働き方も変わりました。ダーウィンの言葉とされている「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。そうではない。最も頭のいいものか。そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ」 まさしく人類もその生き物だと思います。 実は、これはダーウィンの言葉ではなく、元々1960年代に米国の経営学者レオン・メギン ソンがダーウィンの考えを独自に解釈して論文中に記した言葉であって、それを他者が引用を重ねるうち少しずつ変化して、最後にダーウィンの言葉として誤って伝えられるになったという説があります。

レオン・メギンソンは 19 世紀ロシアの生物学者カール・ケスラーの進化説に強い関心を もち、この言葉もむしろケスラーの考えを反映しているそうです。ケスラーは「競争よりも 相互扶助が進化に重要」だと主張しています。

いずれにしても、人類にとって「変化に対応できること、相互扶助が大切である」と考えます。

今日まで**「変化に対応してきたこと、相互扶助してきたこと」**で、私たち人類は、いかなる困難にも耐え、困難に立ち向かい、生命を守り、継承され、今後も進んでいくことができると思っています。

しかし、自然には敵わない場合があります。地震、水害、火災等です。

阪神淡路大震災から26年、東日本大震災から10年が経過しました。直近では栃木 県足利市で発生した山林大火災等がありました。私たちは今も復興を続けながら未来に 向かって進んでいます。更に、これから起こると指摘されている、南海トラフ巨大地震、首 都直下型地震に対しての対策の準備も進んでいくことでしょう。

繰り返すことになりますが、私たち人類が地球上に生まれたとされる 30 万年前から現代、そして未来に向かって、**自然と共生し、変化に対応し、人類が互いに協力**していくことが私たちにとって大切であると考えます。

現在の私たち建築士にできること。それは、いまだ収まることのないコロナウイルス感染症、自然災害に負けないように、皆が安心・安全な社会生活を過ごせるように、会員皆様の協力による物づくりを通しての社会貢献だと思います。

最後になりますが、このような状況の中ではありますが、公益社団法人兵庫県建築士会神 戸支部では、会員の皆様に対し、講習会、見学会、セミナー、耐震相談等の事業活動を展開 することで、多くの情報を得ていただき、技術の向上、知識の習得、研鑽の一助として役立て て頂きたいと考えています。

更に、一般の方々にも建築士の存在を知っていただき、建築士としての技術、知識を提供することで建築士の地位向上と建築士会が市民に認められた団体で、社会的地位を確保できることを願っています。会員皆様には相互扶助をもって、安心し、希望が持てる建築士会にご参加して頂けるような団体になる為に、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

そして、会員皆様方のこれからの、ご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせてい ただきます。

令和3年度役員

1. 神戸支部支部長 (1名) zut totl 戎 孝之

2. 神戸支部副支部長 (3名)

 ささき ひろし
 きゅうほう ひろゆき
 こき かずと

 佐々木 博司
 久宝 弘幸
 湖亀 一登

3. 神戸支部理事(11名)

しばさき やすこ あらかわ なおき こうらい けんじ ささき やすゆき 佐々木 康行 高麗 憲志 荒川 直樹 芝﨑 康子 つねみね ひろふみ てらさわ あずさ てらだ みさと のぐち なおと 常峰 博文 寺澤 梓 寺田 みさと 野口 直人

 まえだ さえ
 まきむと みつのぶ
 やすみず ただし

 前田 さえ
 槇本 光展
 安水 正

4. 神戸支部監事 (2名)

 あかざわ しょご
 いのiえ よしろi

 赤澤 祥語
 井上 芳朗

5. 神戸支部顧問(2名)

たなか よしゆきまえかわ しょうじろう田中 義之前川 象二郎

令和3年度各委員会メンバー

研修委員会

担当副支部長 佐々木博司委員長 芝﨑 康子

副委員長 石田 敦、槇本 光展、安水 正

委員 瀬戸口 茂、常峰 博文、中居 博喜、

前田 さえ、毛利 康人、山下 享子

青年委員会

 担当副支部長
 久宝
 弘幸

 委員長
 高麗
 憲志

副委員長 中村 重陽、川田 靖 委員 石田 志野、寺澤 梓

相談役寺田 みさと顧問上野 和彦

令和2年度神戸支部通常総会

令和 2 年 5 月 14 日 副支部長(総務担当) 湖亀 一登

開催日時:令和2年4月25日(土)13:30~

開催場所:兵庫県建築士会神戸支部事務所

参加人数:通常総会 13名<前年29名>

懇親会 なし (新型コロナウイルスの影響で)

報 告: 今年度の総会は新型コロナウイルスの影響で例年会場となる神戸市産業振興センターも閉鎖されたため、神戸支部事務所での開催となりました。また、できる限り、密になることを避けるため、極力会場にはお越し頂かないように案内をさせていただいたこともあり、上記のような出席者数となりました。また当然ながら懇親会も開くことかなわず、例年になく寂しい総会となってしまいました。一刻も早いコロナ禍の終息を願うばかりです。

【総会の様子】



令和2年度 「歴史と環境」を学ぶ会 事業報告・・・西播磨地方の古建築とまちなみ・・・

主催:公益社団法人兵庫県建築士会 神戸支部 研修委員会

■日 時: 令和2年11月14日(土)8:30~18:00

■内容:西播磨地方の古刹社寺建築を見学し、建築に関わる日常業務のスキルアップに努めました。

また、斑鳩寺では文化財建造物の保存修理工事の現場見学もしました。

■場 所:太子町、赤穂市

■参加者:会員;15名 非会員;1名 合計16名

■参加費:会員 5,000 円 非会員 7,000 円





通年事業の「歴史と環境」を学ぶ会は、例年なら兵庫県外近郊に出向くことが多いですが、 今年度はコロナ禍ということもあり、見学場所 も県内に限定のうえ、募集人数も少なくし、検 温、消毒等の感染予防の対策も取りながらの開 催の運びとなりました。

最初の見学先の太子町斑鳩寺の庫裏は、現在 兵庫県重要有形文化財建造物となっていますが、 老朽化が進行し以前より修理の必要性に迫られ ていました。修理工事後は国の重要有形文化財 建造物の指定を目指す方向であることを現場見 学の際に聞き、保存修理記録もそれに見合った 内容の記録を取っているそうです。文化財の保 存修理工事は改修内容もさることながら修理に 向けた解体時の記録を細部まで取ることにより、 建物の遍歴等が紐解かれ、修理方針を決定する 大きな要因となります。その修理工事に携わる には、日常のスキルと卓越した観察力が必要な 難易度の高い業務と感じました。次に住職のご 案内で聖徳殿を見学しました。中世建造の前殿 と大正期増築の八角形の後殿が併置した外観は 他に類を見ない建築物で内部まで見学させて頂 きました。

斑鳩寺での見学を終え赤穂市に移動し、午後の見学に先立ち昼食を取りましたが、昼食会場ホテルの宴会場のテーブルには、感染症予防のためにアクリル板により仕切られた通常のほぼ半数の着席でこのコロナ禍で見慣れてきたスタイルでの食事となりました。

午後最初の見学先は、赤穂御崎南端の播磨灘を望む位置に在る伊和都比売神社でした。本神社は延喜 式神名帳に名を残す古社で、伊和都比売大神をお祭りし、海の航海安全と大漁祈願の信仰とされていま す。境内は南端の海を望む位置に鳥居が在り海を背に社殿を望みます。もともと海上の八丁岩の上に祀ってあったものを、江戸中期の天和三年に赤穂藩浅野内匠顕長矩が現在の地に移したとのことです。拝殿は桁行5間、梁間3間平入り入母屋、唐破風の向拝を設け、銅板一文字葺二重軒で三方に蔀戸を配し濡縁を廻らせています。本殿は正面1間、側面3間の日吉造りで銅板一文字葺二重軒です。どちらの建築物も維持管理が行き届き比較的に新しい部材が目立ち、主観では古刹風情に欠ける印象でした。

神社の見学の後市街地の赤穂城跡に移動し、ガイドボランティアの案内のもと、赤穂城跡、大石邸長屋門、御殿跡、大石神社を見学しました。週末にも関わらず観光客の少なさが目立ち、新型コロナウィルスによる感染症が人々の経済活動与える影響は多大なものであることを改めて痛感しました。

大石内蔵助一家が半世紀余りに渡り居住していた大石邸の長屋門は正面約27メートル、奥行き約5 メートルの規模を誇り、内蔵助の偉業を偲ぶものでした。次に赤穂城跡には現存していない御殿ですが、見取図(平面図)が実在寸で平らな土間コンクリートに目地切りで描かれ、一見すると見落としてしまいそうな感じでしたが、当時の様子を想像出来る材料として、御殿を取り巻く周辺の庭園(主庭の池泉、中庭、坪庭等)が復原されていて想像力を駆使して当時を偲ぶことが出来る様になっており、これも遺跡保存の手法の一つだと感心しました。最後に見学した大石神社では参道両脇に赤穂浪士全員の石像が参拝者を迎えてくれますが、ガイドボランティアの方の話では吉良邸討ち入りに当時赤穂から参上した人数は数名程度であったらしいという話でした。

以上で訪問予定箇所の見学を終え、予定通りのスケジュールでの帰路、事業終了となりました。次年度の事業時期にはコロナ禍の影響を受けずに開催できることを祈願して報告とします。 (文:常峰)









令和2年度第1回法規講習会報告書

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部 共催

■ 開催日時: 令和 2 年 11 月 24 日 (火) 13:30~16:30

■ 開催場所: 兵庫県民会館 11 階 パルテホール 神戸市中央区下山手通 4-16-3

■ **参加者**: 43名

■ **受講料**: 建築士会会員・事務所協会会員は 3000 円、会員外 4000 円

司会: (公社) 兵庫県建築士会神戸支部 常峰 博文氏開会挨拶:(公社) 兵庫県建築士会神戸支部長 戎 孝之氏

■ 講演内容:

①「神戸市の空家等対策について」

講師:神戸市建築住宅局建築指導部安全対策課空家空地指導係長 末吉 裕 様

②「建築基準法及び神戸市の建築基準法関係条例の改正等について」

講師:神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課建築安全係長 高橋 宏治 様 -休憩-(20分)

③「神戸市都市空間向上計画について」

講師:神戸市都市局都市計画課計画係長 森 正次 様

④「自転車駐車場の附置義務」

講師:神戸市建設局道路計画課 自転車・駐車場利活用担当係長 田原 潤 様

⑤「消防関係法令等の最近の動向について」

講師:神戸市消防局予防部査察課設備指導第2係長 米澤 彰規 様

閉会挨拶: (一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部副支部長 岡田 俊彦氏

			事業	報告シート			
事業分野		もの・まち	・くらし・ <u>その</u>	<u>他</u>	作成日	令和2年1	1月6日
事業名称	親子セミ	ナー「まな	ぼ!つくろ	! わりばしとれ	っごむで"夢の	· 家"」	
開催日時			11月1日(日 30~16:30)	開催場所	すまいるネット セミナールーム	
ふりがな	(こうえ	きしゃだんほ	うじん)ひょ	うごけんけんち	くしかい こう	べしぶ せいねんいい	んかい
活動団体名	(公益社	吐団法人),	兵庫県建築	士会 神戸3	支部 青年委員	員会	
事業の目的					環として、もの・ ンター」の委託紀	づくりの楽しさに触れ 継続事業。	るきっかけとな
主な事業内容	部では、割		を使って子供			家)の多様な形態につい 挑戦。最後に子供一人で	
参加者	内訳	青年会員	一般会員		会員外	小学生	合計
少川 伯	人数					14	14
建築士の関り		者になってモノ [・] 惑して頂くことか			見実の形として造用	ジし、創造すること、モノ	を造ることの楽しさ
今後の検討課題	い思いの 面白い形が した。今年	夢のある家づく が出来上がりま はコロナの影響	りができたと思 した。今年は、 響で秋開催とな	います。割りばし 模造紙に道や公り、夏休みの自由	から立体的なもの 園を書いて、そこ 3研究とは関係なる	ボンなどの装飾を追加を作るのは難しいかと! を作るのは難しいかと! こみんなの家を置いてで くなったので参加者が増なく終了できたと思いま	思いますが、様々な ひとつの町を作りま タえないのかと心配
連携・協力組織等	神戸市す	まいの安心。	支援センター				

当日の様子

- ・わりばしの企画3回目です。今年も布やリボンなどの装飾を追加してみました。
- ・クリスマス前なので、松ぼっくりなどの冬の材料を追加しました。
- ・わりばしの接合など難しいところもあったようですが、様々な立体の家が出来ました。





事業担当(計画)者	寺田 みさと(青年委員会)	事業責任者	高麗 憲志(青年委員会·委員長)
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階
事業担当者E-mail		青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen



まなぼ!つくろ! わりばしでつくる夢の家

わりばしを使って世界に1つの 夢の家をつくってみよう!

頭の中に浮かんだ夢の家を画用紙にスケッチし、その「設計図」をもとに、わりばしや わごむ、カラフルな布などを使って夢の家をつくります。プロの建築士に相談しながら 親子で自由な発想の「夢の家」づくりにチャレンジしましょう!



- 日 時 令和2年11月1日(日)13:30~16:30
- 所 すまいるネット セミナールーム (神戸市長田区二葉町 5-1-1 アスタくにづか 5 番館 2 階)
- 師 兵庫県建築士会神戸支部 青年委員会
- 象 小学生とその保護者 校 (※必ず保護者の方と一緒に参加してください。)
- 定 員 15組
- 参加費(200円(材料費)(※小学生1名につき)

※当日、受付でお支払いください。

お申し込みは…

神戸市すまいとまちの安心支援センター "すまいるネット"













📾 078-647-9911 ※水曜除く10:00~17:00

①お名前(保護者の方とお子様)(ふりがな)(学年)②参加人数③郵便番号④住所 ⑤電話番号 (FAX番号) をご記入のうえ、電話・FAXまたは、すまいるネットホーム ページからお申し込みください。

【申込〆切】10月19日(月)必着

※お申込多数の場合は抽選を行い、ハガキにて当落をお知らせします。

すまいるネット神戸 検索



- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、セミナーを延期(中止)させていただく場合があります。
- ・セミナー当日はご自身で検温の上、平熱でない場合はセミナーの受講を自粛願います。
- ・セミナー会場において検温を実施いたします。発熱等の症状のある方の入場はお断りします。
- ・セミナー会場においてはマスクを着用願います。
- ・セミナー関係者において新型コロナウイルスの感染が確認された場合に備え、受講者名簿を適正に管理し、必要に応じて保健所等 の公的機関にその情報を提供させていただきます。



参加申し込み票

まなぼ!つくろ!わりばしでつくる夢の家

※ご提供いただいた個人情報は、お申込のセミナーのご連絡及び運営、 ● 078-647-9912 すまいるネット業務のご案内及びコロナ感染拡大対策のために利用し、 これらの目的以外に無断で使用することはありません。

^{ふりがな} 氏名 (保護者の方)				(学年)		参加人数	₽
^{ふりがな} 氏名(お 子 様)				(年生)	ジルハ女X ※子供の人数を記入	名
住所 = -							
TEL ()	-	FAX	()	_	

			事業	報告シート						
事業分野		もの・まち	・くらし・ <u>その</u>	<u>他</u>	作成日	令和3年	1月20日			
事業名称	公益社	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 特別講演会								
開催日時			年1月16日()0~16:00	土)	開催場所	こうべまち	づくり会館			
ふりがな	(こうえきし	ゃだんほうじん)ひょうごけん	けんちくしかい:	こうべしぶ せいね	んいいんかい				
活動団体名	(公益社	:団法人) 兵师	車県建築士	会 神戸支部	青年委員会					
事業の目的	講師につい かりで進 を図り、	いては、香川り めている建築第 会員拡大及び活	県高松市仏生 家で設計事務 活動参加拡大	山町でまち全体 所岡昇平の岡昇	を旅館に見立てる 平(おか しょう としたい。また、	、ただく場としたい。 5「仏生山まちぐるる へい)氏を招き、幅 活躍されている講師	広い年齢層の集客			
主な事業内容	講師; 【講師経 建築家 / 1973年 香 1999年〜2 現在、設 館」を100	歴】 設計事務所岡 5川県高松市生 2002年 みかん 計事務所岡昇 ³	昇平 まれ。1997年 ぐみに所属。 平共同代表、/ かる。「 こと	: 徳島大学工学 2002年 設計事 仏生山温泉番台	務所岡昇平 設立 。まち全体を旅館	日本大学大学院芸術 。 官に見立てる「仏生」 おんせんマーケッ	山まちぐるみ旅			
参加者	内訳	青年会員	一般会員		会員外	その他	合計			
多加伯	人数	5	13		5	1	24			
建築士の関り	建築士として著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得られるまでの過程を通じ、 他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ぶべき要素が多い機会と考え、 この事業に関わっていきたい。									
今後の検討課題	なった。 月開催の 後は大学に てもらう	次回もコロナタ 予定から、1月間 にも学生が出版	対策が必要と 開催に延期に 席していない てA4チラシを	考えられ、オン なった。広報は ため、郵送はや&	ラインセミナー も 当初はポスター等 か、確認審査機関等	1/2の45名(通常定員 6併用するか、検討さ 等を作成し大学等に 等にA4チラシとポス 合った参加人数で、少	を要する。昨年の4 郵送したが、延期 トカードを置かせ			
連携•協力組織等	設計事務	新岡昇平								

当日の様子

岡先生のおり 岡先生のおり 一間先生のおり このは このは このは このは このは このは に関する このは に関する このは に関する このは に関する このは に関する に





事業担当(計画)者	川田 靖(青年委員会)	事業責任者	高麗憲志(青年委員会・委員長)
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階
事業担当者E-mail		青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen

令和二年度 公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会主催

昇平 特別講演会

2021年 1月 16日(土) <mark>入場無料</mark> 会 場: こうべまちづくり会館 2階 開催時間: 14:00~16:00 (開場 13:30) CPD2単位 定 員: 45名 申込不要・当日整理券配布

当日は13:00より先着順で整理券を発行いたします。整理券がなくなり次第、入場を締切いたします。

仏生山温泉



0



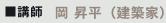
仏生山まちぐるみ旅館

まち全体が旅館です。

客室棟、飲食棟、浴場棟、物販棟など、旅館としての機能が まちのなかに点在しています。

旅館という建物はありません、まち全体が旅館です。

所在:香川県高松市仏生山町





現在、設計事務所岡昇平共同代表、仏生山温泉番台。

まち全体を旅館に見立てる「仏生山まちぐるみ旅館」を10年がかりで進める。

「ことでんおんせん」「50m書店」「おんせんマーケット」「電車図書室」 などをみんなではじめる。



催:公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会 会 お問合せ: 公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 事務局 TEL: 078-599-6915 Email:info@kobe-kenchikushikai.com

場:こうべまちづくり会館 2階 TEL: 078-361-4523 JR元町駅西口徒歩10分 神戸市中央区元町通4-2-14 https://kobe-machi-kaikan.city.kobe.lg.jp/

			事業	報告シー	 				
事業分野		もの・ <u>ま</u>	<u>ち・くらし</u> ・その	他	ſ	作成日		令和2年10)月19日
事業名称	世界の暮らしる	見てみ	よう!Zoom ラ	イブ~バリ約	—— - 扁~				
開催日時	令和2年	0月18E	日午前9時から	(日本時間)	開	催場所	各自z	coomの使用で	できる環境
ふりがな	ひょうごけんけん	<i>」</i> ちくしか	いこうべしぶ:	きかくいいんた	いしい				
活動団体名	(公益社団法	人)兵(庫県建築士 会	計 神戸支部	部 企画才	美員会			
事業の目的	場感あふれる	ライブ形	式で参加し見!	学できるよう	にする。建	物を通して	てバリの	文化や暮らし	り組みなどを臨 ・方、環境の考え 応援する目的も
主な事業内容	現地のツアー する建物は一を積み上げた 境に配慮され	テーマ;バリの環境への配慮を建物を通して学ぶ 現地のツアー会社バリ倶楽部の協力で、バリにある環境に配慮した建物をzoomライブにて紹介する。系 する建物は一般社団法人Earth Companyの運営するMana Eco villas。 インドネシアのウブドにあり、当 を積み上げたアースバック工法にて建築されている。電灯は全て太陽光発電、水は雨水を利用するな 境に配慮された宿泊施設で、オーガニック料理を提供するレストランも併設している。社団法人Earth Compan代表の濱川氏に説明をしながら案内してもらい、質疑応答の時間も設けてもらう。							ブドにあり、土嚢 ・利用するなど環
参加予定者	内訳 企画 人数	委員会 4	士会員 1		会員 ⁵ 17	r \			合計 22
建築士の関り	バリに近年多く建築されている環境に配慮された建築物の1つを見て、日本の建築との違いを知り学ぶ。								
検討課題	一般建築士会員の参加者がゼロ。オンラインでのセミナーに対して抵抗が有るのか企画自体に興味が無かったのか、今後の検証が必要です。								
連携・協力組織等	バリ倶楽部 厚	島圭吾	氏/ 一般社団	法人Earth	Company	濱川 明E]香∙濱川	l 知宏氏	







	事業担当(計画)者	事	業責任者	(企画委員会・委員長)
	事業担当者連絡先	神戸	支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階
ĺ	事業担当者E-mail		URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/kikaku info/

			事業報	告シート			
事業分野		<u>もの</u> ・まち	ō・ <u>〈らし</u> ・その他		作成日	令和2年11	月12日
事業名称	建築士の	ための整理	収納術 ~使い	手から考える	片付く仕組み作	□ り~	
開催日時			E11月6日(金) 30~20:00		開催場所	支部事務所	
ふりがな	(こうえきし		_ノ)ひょうごけんけん	しちくしかい こ	うべしぶ せいね	いんぶかい	
活動団体名	(公益社	団法人)兵」	庫県建築士会	神戸支部	企画委員会		
事業の目的	いと感じて	いる方も多いの		か。そこで、自		、実は収納量や収納方 い方を学び、ストレスフル	
主な事業内容	まず、整 次に、整 最後に、	理収納の基 理収納のプ これまで関	。口に直接相談	つために整理 するなどして 中から、建築	て、意見交換す 士に関連する	のヒトとモノとの関係 「る。 事例の話をしてもら	
	内訳	企画委員	士会員		会員外	7. O. III	合計
参加者	人数	4	9	<u> </u>	<u> </u>	その他 0	13
建築士の関り	建築士力	が設計するに	こあたり、顧客に	′ 提供できる	ノウハウが増え	える	
今後の検討課題		のセミナーと				徴収に手間がかかる ミナーの参加費徴収	
連携・協力組織等	一社)もの	カコミュ研究所	Ť				

当日の様子

前半は整理収納の理論、後半は実例をお話しいただきました。

整理とは、"不要なものを取り除くこと"であって、一つ一つモノと向き合っていくこと。好きなものと必要なものを残し、嫌いなものと必要でないものは手放すというように、なんとなく置いておくことが諸悪の根源であるとのことでした。が、大量の建築関係の雑誌や書籍、書類を抱えている建築士は、その向き合う時間を面倒と感じているようです。

後半では、引き出しの内部を身近なものを利用して仕切ることや郵便物の即開封即処分が、時間的なゆとりにつながるということ、捨てるだけではなく、違う形に変えて残すことや写真に撮るなどのダウンサイスで空間のゆとりができるなど、自宅に活かせそうな具体例を話していただきました。また、設計する際の注意点として、奥行きの深い棚や収納扉によく採用される折れ戸によるスペースの無駄など、使用者サイドの指摘をいただき、今後の設計に活かせる内容となったと感じました。

質問タイムでは、モノを処分することに抵抗感がある高齢者にどう対処すればよいか、気に入っている物がたくさんあるが、残った家族に迷惑をかけない方法があるかなどの相談がありました。また、セミナー終了後も相談する参加者があり、興味深い内容でした。

事業担当(計画)者	事業責任者	(企画委員会・委員長)
事業担当者連絡先	神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階
事業担当者E-mail	URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen